

令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 有功小学校

作成日

令和7年3月7日

1 教育目標

未来を生きぬく子の育成
「やさしい子、まなぶ子、たくましい子」

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心と 健やかな身体の育成	食に関する教育の推進	地域とともにある学校
指標	○全国及び県の学習調査の正答率のポイント、無回答率のポイントを、県・市の平均に近づける ○「学校は子供にわかりやすい授業を工夫している」について、保護者アンケートの肯定的な評価が90%以上	○「学校が楽しい」と感じる児童の割合が90%以上 ○いじめ解消率100%	○朝ごはんの欠食率(児童の朝食欠食率)0%	○保護者アンケート「学校の様子がよく伝わった」について肯定的回答が85%以上
重点目標に対する	○読書に力を入れていることはよいことだと思う。 ○図書ボランティアの方に来ていただき、本の修繕や図書室の整備をさせていただいているのは有難い。	○子供にとって「学校が楽しい」ということはとても大切なことだと思う。それがあって、初めているんなことが学んでいけると思う。	○どの学年でも、それぞれの発達段階に応じた「食と健康」の授業が行われていることは、ぜひこれからも続けてほしい。	○公民館や社協など、有功地区全体での活動を、各小学校・中学校の児童生徒と一緒にできることはよいことだと思う。 ○同じ中学校に行くので、3小学校と中学校の連携は大切である。
意見取組状況に対する	○全国学力学習状況調査や、和歌山県学習到達調査は、普段のテスト様式とは異なるため、その方法に慣れる必要もあると感じる。	○ほとんどの子供が「学校が楽しい」と思っているのはとてもうれしいことである。ただ「楽しくない」と感じている児童も少ないながらもいるので、引き続きいねいに取り組んでもらいたい。	○6年生の食育で、「SDGs献立」を作成したことはとてもよい取組だと思う。残食について考える機会となり、食べ物の大切さを感じることができたと思う。	○学校だよりがデータ配付になったことで、読み返したい時や予定を確認したい時にすぐに携帯でみるのでよいと思う。
取組の適切さの検証結果	○保護者が学校の取組に対して肯定的であるのは、学校がしっかりと取り組んでいるからだと思う。	○児童に対する「いじめアンケート」では、いじめの解消率が100%となっているのはとてもよいが、保護者アンケートでは「学校はいじめをなくす取組をしている」と感じている人が少ないように思う。取組をもっと知らせていく必要があるのではないか。	○各学年の発達段階に合わせ、食と健康について取り組んでいるが、朝ごはんの欠食率と結びつけていくことは難しい点もあるのではないかと感じる。	○学校ホームページは行事等の様子がよくわかるので有難い。より充実できるように取り組んでもらいたい。 ○地域との交流も、今後も積極的に進めてもらいたい。
改善年度法に向けての意見	○各教室では、落ち着いて授業に取り組むことができている。実験を楽しくしていたり、タブレットを使っていたりと、様々な学習の様子も見られた。引き続き、子供たちにとって学びが身につくよう取り組んでもらいたい。	○保護者にもいじめについてのアンケートなどをとってはどうか。 ○学校でのさまざまな取組を、もっと保護者に伝えるように発信して欲しい。 ○参観授業で人権の学習を扱うことはよいことだと思うので、続けてほしい。	○「食と健康」について学ぶことはとても大切なことだと思う。学校だけでは成立しないので、学校と家庭との連携も大切だと感じる。 ○「SDGs献立」のように、学んだことを何かの形で発表できる機会があればよい。	○小学校で取り組んでいる図工作品を見ると、地域の人と一緒に作るのもよいと感じる。そのような機会があればよいのではないかと感じる。

3 その他のご意見

- 学校運営協議会で給食を試食させていただいたことはとてもよかった。今の児童がどんな食事をしているのかよくわかった。
- 有功の歴史について、子供たちにも学ぶ機会があればよい。
- 通学路の危険な場所について、学校と地域、警察等が共有できる機会があればよい。